



第 445 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
編集人 松 村 光 惟
発行人大阪市西区新町1丁目5-7
四つ橋ビル
TEL (531) 9717・5910
定価 1部 60円

新年のご挨拶

大阪府危険物安全協会理事長 嶋田直一 様

会員の皆様方におかれましては、天地の限りなき恵みを受けて、輝しい平成3年の新春をお健やかに迎えのことと、心よりお祝い申し上げます。

昨年は、東欧諸国の民主化運動により、世界もやっと明るさをとりもどしたかに見えましたが、突如として中近東に大きい緊張がみなぎり、世界の政治経済が大きく揺れ動きましたが、国内では新天皇の即位の礼も厳粛裡にとりおこなわれ、政財界に大きい変化もなく、また、大阪府におきましても、花と緑の国際博が盛會裡に終了し、特筆すべき災害もなく、平穩のうちに新春を迎えることができましたことは、まことに慶賀にたえないところであります。

一方、われわれの官業界では、消防法の改正、とりわけ危険物関係法令の抜本的な改正が行われ、昨年5月改正法が施行されるに伴い、諸手続き、設備の改修等で何かとご繁忙であったことかと推察いたしますが、危険物規制基準の国際的な整合性、規制の合理化によって、将来、より安全を確保しながら産業が発展することを期待いたしますと、改正による手続き等の繁雑さ、煩らわしさは一通過点の問題として位置づけられるものと存じます。

法改正による関連業務も承わるところによりますと、消防ご当局の周到な準備態勢、関係者への周知啓蒙が十分行われるとともに、会員事業所の深い認識のもと、あと若干の問題点を残して、大改正の関門も何とかクリヤーできましたようでご同慶申し上げます。

また、本会にとりましても、昨年は創立40周年を迎え、記念式典、記念誌の発行等と、大事業を何とか無事と行うことができ、6月には全国一斉に行われた安全週間に

も、啓発運動、講演会等一連の行事に参画させていただき、これ偏に関係各位のご指導ご支援の賜ものと衷心より感謝いたしております。

さて、今年は、わが国の経済にも、ややかげりが見える予見される専門家も多く、世界の平和確立もまだまだ流動的で内外共に多難な年かと思われまます。

人間の英知が進むにつれ、技術革新、生活変化等による人為的なことから、地球の温暖化、酸性雨、産業生活廃棄物等の諸問題を発生し、永い歴史の平和な生物社会に悪影響をあたえている事実を考えますとき、新年を迎えるにあたり、一層人間社会の安全性の重要性を痛感いたします。

大阪は、いま、数年先の新空港開港を目指し、南部を中心に大きく変わろうとしており、かたや、関西文化学術都市計画により京阪奈地区の開発も急ピッチで進んでいます。過去の歴史をみますと、無理な工事や、産業の改革には事故、災害が当然のように発生しているようですが、われわれの知識と技術を活用することによって事故や災害はもっともっと減少させることができるものと確信いたしております。

私共協会も創立41年目に入り、役職員一丸となって、来るべき21世紀に向けて、また輝やかしい50年を目指し、協会発展のため全力を傾注するとともに、災害防止に精励する所存でございますので、ご当局の関係者には倍旧のご指導を賜り、会員の皆様にもより一層のご支援をお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

大阪府知事 岸 昌

財団法人大阪府危険物安全協会の皆様、新年を迎え、一言ごあいさつを申し上げます。

早いもので、昭和54年に皆様の温かいご支援により、府政を担当させていただいてから12年、第3期府政のしめくくりの年を迎えることとなりました。この間の皆様方の変わらぬご支援、ご協力に深く感謝しますとともに、精一杯任期を全うしたいと存じます。

顧みますと12年前の知事就任当時は、大阪・関西の地盤沈下が叫ばれていましたが、今の伸びゆく大阪の姿をみますと、隔世の感を禁じ得ません。

年頭にあたり、これまで府民の皆様とともに重ねてきた努力が、90年代には一層実り多いものとなるよう念じつつ、明日の大阪について語ってみたいと存じます。

まず、私たちの生活の基盤となる環境であります。地球環境問題が人類の課題となっている今日、ノーマイカーデーの推進や生活排水対策など身近な取り組みにより、地球にやさしいライフスタイルを確立し、次の世代に豊かな生活環境を引き継いでいくことが肝要であり、現在策定中の「新環境総合計画」では、都市生活と環境の共生する「ア

ーバンエコトピア」という考え方を提案したいと考えています。

また、「花の万博」の成果を踏まえ、「大阪みどりの10年」後期の取り組みを充実させるほか、水とみどりの豊かなまちづくりを府民参加によってすすめていくことが必要です。

21世紀初頭の超高齢社会の到来を控え、府民の生涯にわたる健康な生活を確保するため、「ハートプラン21」などにより総合的な保健・医療の充実を図っています。

今後とも高齢者や障害者の方々が住み慣れた地域社会の中で安心して暮らせるよう、あらゆる人々が交流し、共に生きるノーマライゼーションのモデル都市づくりをすすめるなければなりません。

文化は都市の活力と魅力の源となるものであり、大阪が国際文化都市として発展するためには、文化活動の振興が重要であります。今後、昨年に産声をあげたばかりの「大阪センチュリー交響楽団」の運営やこの2月にオープンする「弥生文化博物館」をはじめ、「現代芸術文化センター」など文化施設の整備に力を注いでいくほか、「大阪文化振興ビジョン」に基づく文化への思い切った投資により、大阪が世界に誇れる文化首都に成長することを願うものであります。

国際化、情報化、技術革新、経済のソフト化などの時代潮流の中で大阪産業は大きく飛躍しようとしており、研究開発型企業振興財団の設立などこれからの大阪産業を担う中小企業の研究・技術開発を支援するため、体制の整備に努めているところです。

これからは、これまで築いてきた確かな基盤のうえに立って、府民の誰もが「安全で豊かな生活を実感できる都市・大阪」づくりに務めていかなければなりません。

今年が、輝かしい21世紀の大阪づくりに向けて、新たな一歩を刻む年になることを願いつつ、今後とも財団法人大阪府危険物安全協会の皆様はじめ、府民の皆様方の府政への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年を迎え
謹んでご挨拶を
申し上げます

平成3年1月

(財)大阪府危険物安全協会
理事長 嶋田直栄
役員、職員一同



新春のごあいさつ

大阪府下消防長会会長 十 河 將 博
大 阪 市 消 防 局 長

輝かしい平成 3 年の新春を迎え会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、貴協会の創立 40 周年記念式典が盛大に行われ、本年は心新たに事業の展開を考えておられることと存じ、心からお喜び申し上げます。また、皆様方におかれましては、中東危機や貿易摩擦等の経済環境の変化にもかかわらず、安全操業のうちに事業の発展を遂げられたものとお喜び申し上げます。

さて、昨年をふり返りますと、3 月に尼崎市のスーパーマーケットにおいて、寝具・インテリア売場から出火し、客と従業員の 15 名が死亡し 6 名が負傷されるという大惨事が発生しました。この火災を考えてみますと、避難施設の管理、初期消火体制、売場における監視体制、テナントやパートタイムの従業員に対する防災教育等のソフト面に問題があったと指摘されております。もちろん、建築物の構造や消防用設備等のハード面に全く問題がなかったとは言いきれませんが、日頃の防火管理体制が充実しておればもっと被害は少なかったのではないかと考えると残念でなりません。

また、5 月には東京都におきまして、危険物第 5 類の自己反応性物質に該当する「過酸化ベンゾイル」が爆発し、死者 8 名、焼損家屋 8 棟という大きな損害をもたらす火災が発生しました。事故原因は調査中ですが、この工場では日頃の危険物に対する安全管理が充分でなかったなど問題が少なくなかったと聞いております。

これ以外にも各地で火災や爆発、危険物の流出事故等が発生しましたが、多数の人が出入りするデパートやホテル等又は大量の危険物を取り扱う事業所においては、人命優先、安全第一を経営の基本方針としなければならないものと考えます。

危険物行政におきましては、昨年 5 月 23 日から一連の改正法令が施行されました。今回の改正は、科学技術や産業経済の進展に伴う新しい危険物の出現、危険物流通の国際化及び危険物の新たな貯蔵・取扱い形態に対する要望などに対応するために行われたものであります。主な内容は、

危険物の品名の見直し、危険物の判定への理化学試験の導入、屋内給油取扱所の上階の用途制限の緩和などですが、消火設備など設置の技術上の基準が強化されたものもあります。これら改正法令に対応するため、皆様には昨年から新たな許可の取得、施設の改善等に努力をいただいておりますが、本年もより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在「関西国際空港」や「関西文化学術研究都市」の建設、「大阪湾ベイエリア開発」の推進など大阪府下ではビッグプロジェクトが進んでいます。21 世紀に向け、最先端をいく技術の開発や国際的な貿易、世界の情報の受発信の場となるような施設の建設が行われるとともに、文化・芸術・スポーツ・レクリエーションなどの機能を持った都市の創造も進められております。

我々消防も府民の安全を確保し、うるおいとゆとりのある生活を守るため、防災に万全を期す所存でありますので、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、皆様方の事業のますますのご発展と会員各位のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のごあいさつとします。





新春を迎えて

財団法人全国危険物安全協会理事長 皆川 迪夫

平成3年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、平素、危険物の保安管理にご活躍されている財団法人大阪府危険物安全協会の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

澄みきった秋晴れのもと、昨年11月明仁天皇陛下即位の礼が行われました。国家元首をはじめとする祝賀使節を世界各国からお迎えし、おごそかにも盛大に行われた世紀の式典は、私達に平和に生きる喜びと将来に向かっての大きな希望を与えてくれたのであります。

さて、全国危険物安全協会は、消防庁をはじめとする各都道府県及び全国消防機関ご当局のご指導と、会員各位のご協力を受けながら危険物に関する安全確保を図るため、安全思想の普及、危険物取扱者保安講習事務に対する協力及び地下タンク等定期点検実施制度の推進等危険物の安全管理を推進する財団法人として、社会から信頼を得る努力をしているところであります。

しかしながら、昨年5月26日の東京都内の工場において、過酸化ベンゾイルの爆発火災により、死傷者28名という大きな被害が発生し、危険物関係者に大きな衝撃を与えた他、極く初歩的な知識の欠如や基本的な取扱いの誤りによる災害が多数発生しております。

このような状況下での貴協会に寄せられる府民の期待は益々高まるとともに、その責任は一層重大になるものと思われまます。これらの期待に応えられるために嶋田理事長を中心に結束を固められ、府下の危険物災害の防止にご精進下さいますようお願い申し上げます。当協会も自主保安体制確立のために些かの貢献をすべく役職員一同努力する所存でありますので、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、財団法人大阪府危険物安全協会のご発展と、皆様方のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

迎 春

(財)大阪府危険物安全協会
大阪市危険物安全協会
箕面市防火協会
池田市消防協会
豊中防火安全協会
島本町火災予防協会
高槻市火災予防協会
茨木市災害予防協会
吹田市危険物安全協会
摂津市防火安全協会

枚方市・寝屋川市
防火協会連絡協議会
交野市火災予防協会
四条畷市防火協会
守口・門真防火協会
大東市火災予防協会
東大阪市防火協力会連絡協議会
八尾火災予防協会
柏・羽・藤火災予防協会
松原市火災予防協会
富田林市防火協会

河内長野市防火協会
美原町防火協会
大阪狭山市防火協会
堺市・高石市防災協会連合会
泉大津市火災予防協会
忠岡町防火協力会
岸和田市火災予防協会
貝塚市火災予防協会
泉佐野市火災予防協会
泉南市火災予防協会

平成元年度中

危険物災害事故の傾向

(平成 2 年度消防白書より その 2)

危険物施設等における災害

1 火災

(1) 火災件数と被害

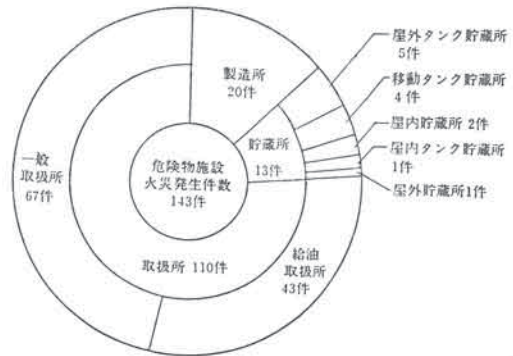
危険物施設における平成元年中の火災の発生件数は 143 件（前年 150 件）、損害額は 36 億 2,242 万円（同 19 億 28 万円）、死者及び負傷者は、それぞれ 3 人（同 4 人）、36 人（同 77 人）となっている。

火災発生件数は、前年より 7 件減少し、火災による被害は、前年に比べ、死者数は 1 人減少し、負傷者数は 41 人と大幅に減少したが、損害額は、前年に比べ、大幅に増加している。

危険物施設における火災の発生件数と被害状況

区 分	火災発生件数	損害額 (百万円)
昭和 60 年	126	2,309
61	145	1,739
62	132	3,587
63	150	1,900
平成 元年	143	3,622

また、危険物施設の火災による他への影響の程度についてみると、142 件（他の施設から類焼した 1 件を除く。）の火災のうち 132 件（93.0%）が当該危険物施設のみので火災にとどまり、10 件（7.0%）が他へ延焼した火災となっている。



平成元年中 危険物施設火災発生件数

次に、危険物施設別の火災発生状況を見ると、取扱所での火災が 110 件と最も多く、その中でも一般取扱所での火災が 67 件と全体の半数近くを占めている。

さらに、出火原因となった物質を消防法別表の分類等に従って区分すると、危険物以外のもの 47 件、第 4 類第 1 石油類 44 件、第 4 類第 3 石油類 20 件、第 4 類第 2 石油類 10 件の順となっている。

(2) 火災の発生原因及び着火原因

平成元年中に発生した危険物施設における火災の発生原因の比率を、人的要因、物的要因及びその他の要因に区別してみると、人的要因が 58.7%（84 件）と最も多く、物的要因 18.9%（27 件）、その他の要因 12.6%（18 件）となっている。

また、着火原因をみると、裸火が 16.8%（24 件）と最も多く、次いで電気火花 14.0%（20 件）、静電気火花 10.5%（15 件）、溶接・溶断等火花、過熱着火それぞれ 9.1%（13 件）となっている。

(3) 無許可施設の火災

製造所、貯蔵所又は取扱所として許可を受けていない無許可施設での火災の発生件数は 23 件で、負傷者は 11 人（死

安全が見える窓つき またひとつ超えました。

安心小窓がついた
モリタの消火器
MADONNA
火災御見舞金(最高20万円まで)つき

山田ポンプ株式会社

本社 / 〒544 大阪市生野区小路東5-5-20 TEL(06)751-1351(代)
営業所 / 東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・高崎
静岡・富山・広島・松山・札幌・旭川

"まさか"より "もしも"で 守ろう 危険物

者なし)となっている。なお、これらの火災による損害額は、2億5,641万円となっている。

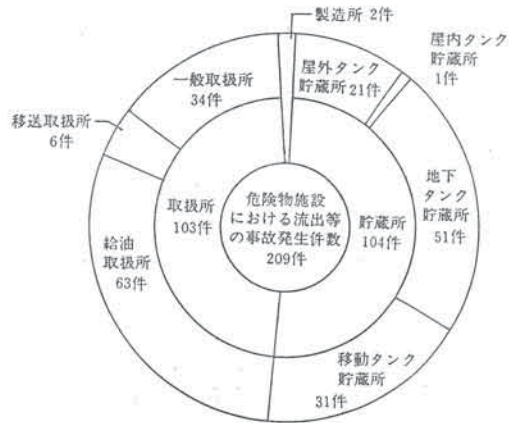
(4) 危険物運搬中の火災

危険物運搬中の火災の発生件数は5件で、負傷者は2人(死者なし)となっている。なお、これらの火災による損害額は1,344万円となっている。

2 危険物流出等の事故

平成元年中の危険物施設における危険物流出等の事故発生件数(火災に至らなかったものは、209件(前年234件)となっている。

このほか、危険物運搬中に21件、無許可施設において4件、仮貯蔵の承認中において2件の危険物流出事故が発生している。



平成元年中 危険物施設漏洩発生件数

危険物施設における流出等の事故発生件数

年	S60	S61	S62	S63	H元
事故件数	258	229	237	234	209

ヤマト消火器株式会社が社名を変更し、
ヤマトプロテック株式会社として、
 大きく、はばたいています。
 今後ともよろしくお願いいたします。



ヤマトプロテック株式会社

東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)446-7151(代)
 本社 〒537 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)976-0701(代)

■営業品目■ ビル防災設備/プラント防災設備/避難・警報設備/家庭用防災機器/各種防災機器/各種消火器
 名古屋・札幌・仙台・新潟・大宮・八王子・千葉・横浜・静岡・岡山・神戸・尾道・広島・松山・福岡・鹿児島/大阪工場



ハツタは先端技術とふれあいの心をいかにします
Hi-Tech & Hi-Touch
 ハイテック&ハイタッチ

(損害防止)

ロスプリベンションが使命です。

ロスプリベンションのトータルプランから
 メンテナンスフォローまで
 各種システム&デバイスで
 お応えします。

営業品目

消火システム・警報システム・特機デバイス・防災関連デバイス・消火器



株式会社 初田製作所

本社/〒573 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
 TEL.(0720)56-1281(大代) FAX(0720)56-1472

平成2年度 第4回危険物試験

2月17日(日)府大で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、大阪府下の平成2年度第4回危険物取扱者試験を次のように実施することになった。

- ▷試験日 2月17日(日) 午前 乙種4類
午後 甲種、乙種1~6類
丙種
- ▷試験場 大阪府立大学(堺市)
- ▷申請日 1月17日(木)、18日(金)
- ▷申請場所 大阪府職員会館

準備講習受付は1月11日より

準備講習は、甲種、乙種4類、丙種について別掲のとおり、大阪、堺、茨木、枚方など7会場で行なわれる。

なお、4類以外の乙種各類については、今回行なわれないので念のため。

危険物安全週間推進

キャンペーン標語募集

危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進するため、6月の第2週は全国一斉に安全週間とされている。

そこで、消防庁、地方公共団体、全国消防長会並びに全国危険物安全協会では、次によりキャンペーン標語を募集しているので応募されたい。

1. 締切 2月28日まで
2. 表彰
 - ・最優秀作(消防庁長官賞と副賞20万円)
 - ・優秀作(全危協理事長賞と副賞10万円)
 - ・その他

(注) 詳細については本会(06-531-9717)にご連絡されたい。

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8



暮らしに安心と安全をお届けする

屋内外消火栓設備
スプリンクラー設備
ドレンチャー設備
泡消火設備
ガス消火設備
粉末消火設備
自動火災報知設備
避難設備

創業30年の実績と経験で信頼いただく
防災のことならサンワにお任せください

あらゆる消防設備・設計・施工・保守・点検

株式会社 三和商会

本社 大阪市西区京町堀2丁目1番17号
〒550 電話(06)443-2456(代)

平野営業所 大阪市平野区長吉出戸2丁目4番6号
〒547 電話(06)707-3341



危険物取扱者養成講習ご案内

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	1月23日(水)、1月28日(月) 1月30日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種第4類	1期	1月23日(水)、1月28日(月)	大阪府商工会館
	2期	1月24日(木)、1月30日(水)	大阪府商工会館
	3期	1月29日(火)、2月1日(金)	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	4期	2月5日(火)、2月6日(水)	茨木市商工会議所 (茨木駅ヨリ約13分)
	5期	2月7日(木)、2月8日(金)	枚方(北河内)府民センター (京阪枚方市駅ヨリ約5分)
	日曜コース	1月20日(日)、1月27日(日)、 2月3日(日)	10時～16時30分
丙種	2月13日(水)	9時30分～16時	大阪府商工会館

2. 受付期間と場所

受付場所	日	時
茨木市消防本部内 茨木市災害予防協会	1月11日(金)	午前10:00～11:30
枚方寝屋川消防本部内 枚方市・寝屋川市防火協会	1月11日(金)	午後2:00～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より 南へ5分) 豊中防火安全協会	1月14日(月)	午前10:00～11:30
岸和田市消防本部内 岸和田市火災予防協会	1月14日(月)	午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内 (南海・湊駅北へ6分) 堺市高石市防災協会連合会	1月14日(月)	午後2:00～4:00
東大阪市西消防署内 (近鉄・小坂駅北へ6分) 東大阪市西防火協力会	1月16日(水)	午前10:00～11:30
(地下鉄・守口駅前) 守口消防署	1月16日(水)	午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北2号出口) 財大阪府危険物安全協会	1月21日(月)	午前10:00～12:00 午後1:00～4:00

Safety & Fire Engineering



防火・防災機器をフルラインアップ。豊富な製品群が多様化するニーズに応えます。

安全は時代の必然。

新しいマルナカ、始動。



株式会社 マルナカ

□本 社 大阪市北区中崎西4丁目2番27号 〒530
TEL.(06)371-7775(代表) FAX.(06)372-1859

□東京本社 東京都文京区本駒込5丁目73番5号 〒113
TEL.(03)944-0161(代表) FAX.(03)944-0170

株式会社 神戸マルナカ

株式会社 名古屋マルナカ